

新除草・調節剤

ビービー水田除草剤

PCP・DCBN粒剤

PP水田除草剤普及会
石原産業株式会社
日本農薬株式会社
保土谷化学工業株式会社
東亜農薬株式会社
(取扱メーカー) 武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
八洲化学工業株式会社
テイツク農薬株式会社
(事務局) シエル化学製品販売(株)

対象作物：イ草・七島イ

性状・作用特性：本剤は既に移植水稻で広く使用されているが、今回はイ草、七島イを対象として実用化が認められたものである。

本剤の有効成分は、ペンタクロロフェノール・ナトリウム(PCP)17%と、2,6-ジクロロチオベンザミド(DCBN)1.2%の混合粒剤である。

作用特性は、母剤であるPCPの非選択接触的作用と一方のDCBNの移行的(根系吸収)作用とを併わせもっている。混合剤とした目的は、PCPのマツバイ殺草力の小さい点を効力の持続性の短い点を改善したものである。したがって、一年生雑草のノビエ、コナギ、多年生雑草のマツバイと適用範囲が広く、しかも、使用適幅もDCBN同様に広がっている。土壌中の効力持続期間も30～35日と長い。

使用方法：①七島イの場合、水稻同様使用

量は10アール当り製品2.5～3.5Kg、②イ草時期は植付後5～10日あるいは中耕後、使用量は10アール当り製品2.5～3.5Kg、③イ草の場合、使用時期は3～4月の雑草発生始め、使用量は10アール当り3.5～4.5Kgを湛水条件下で均一に散布する。

使用上の注意：魚貝類に対してはPCPの使用に準じ、適用土壌は日減水深3cm以下の壤土～埴土で使用する。

[DIC] マシパー50

CPH除草剤

大日本インキ化学工業株式会社
(取扱メーカー) テイツク農薬株式会社

対象作物：水稻刈取跡マツバイ防除

性状・作用特性：本剤は試験名DIC-115で試験されてきた国産除草剤である。有効成分は、2-メチル-4-クロロフェノキシアセトヒドラジド(CPH)で、剤型は50%水和剤である。

本剤は、ホルモン型の選択殺草性(広葉>イネ科)を有する移行型除草剤である。

その殺草作用はMCPに類似しており、莖葉・根から吸収され、植物体内を移行し、分裂組織を著しく活性化して種々の畸形を生じ、葉緑素の形成阻害や呼吸作用の異常増進などによって植物体内の不均衡を生じさせて植物を枯死させる。MCPよりやや殺草作用が強いとされている。土壌中の残効性もMCPと同程度かやや長いとされる。

人畜魚毒性については、MCPと同程度で間

新除草・調節剤

題がない。

使用方法：今回実用化が認められたのは、暖地一毛作田の早期水稻（9月中旬までの刈取水稲）刈取跡のマツバイ防除用としてみとめられた。使用時期は水稻刈取後10日以内、使用量は10アール当り製品300～400gで、90～110ℓの水によくとかして加圧噴霧機で莖葉によくかかるように散布する。

使用上の注意；完全に落水し、雑草を露出させて薬液が充分かゝるよう散布する。その他、2,4-Dの使用に準ずる。

の移動性は大である。

人畜毒性は、マウス急性経口毒性LD₅₀＝4,600mg/Kgと小である。

使用方法：今回実用化が認められたのは、水稻刈取跡休閑田を対象としてである。使用時期はスズメノテッポウの2～3葉期前後、使用量は10アール当り製品250～400gで、70～100ℓの水によく溶かして均一に散布する。

使用上の注意；雨期や乾燥期を避けて散布する。

ダウボン

D P A 水 溶 剤

ダウ・ケミカル・インター
ナショナル・リミテッド

（取扱メーカー）日綿実業株式会社

石原産業株式会社

日産化学工業株式会社

対象作物：水稻刈取跡休閑田

性状・作用特性：本剤の有効成分は、2,2-ジクロロプロピオン酸であり、剤型はソーダ塩の85%水溶剤である。

本剤は、非ホルモン型移行型除草剤である。その殺草作用は、莖葉および根から吸収されて植物体内を移行し、代謝作用の阻害によっておこなわれる。その症状は、まず葉色が暗色を呈し、生長が止まり枯死する。

雑草種類に対する選択殺草性は、一年生および多年生のイネ科雑草に極めて大きく、広葉雑草には小さい。土壌中の残効は中程度、土壌中